



メディアに対応するための 12 の推奨ガイドライン

抜粋 © 1985 The Augustine Fellowship, S.L.A.A., Fellowship-Wide Services, Inc. 無断複製禁止。

セックス・アンド・ラブ・アディクツ・アノニマス

1. 私たちは、公的なメディアから、**S.L.A.A** 全体に必要以上の注意を引くことを避けるように努めています。
2. **S.L.A.A.**は、外部の問題に意見を持ちません。したがって、**S.L.A.A** の名前は決して公の論争では引き合いに出されません。
3. 私たちの広報活動は、宣伝よりもひきつける魅力に基づくものです。私たちは知名度を追い求めません。
4. **S.L.A.A.**メンバーが独断で、公的なメディアで **S.L.A.A.**を一方的に紹介する行動は、どのようなレベルでも明確に禁止されています。
5. メディアや広報の機会を受け入れるか辞退するか、また受け入れた場合にどのように対応するかについては、このガイドラインの精神に従い、常にグループの良心に基づいて決定する必要があります。
6. **S.L.A.A** に提供されたメディアや広報のオファーに期限までに回答しなければならず、そのオファーを受けるためにはそのオファーに関する適切なグループの良心の意思決定を回避/省略する必要のあるものは、すべて辞退すべきです。
7. 広報やメディアに登場する場合、そのような状況は、常に少なくとも 2 名のソバーな **S.L.A.A.**メンバーによって扱われなければなりません。参加する **S.L.A.A.**メンバーは、**S.L.A.A** 全体の代表としてではなく、あくまで個人として発言しているということを明確にしなければなりません。どの **S.L.A.A.**メンバーも、**S.L.A.A.**全体の代表者であると思われるような態度を取ってはいけません。
8. **S.L.A.A.**メンバーがメディアや広報のオファーに対応する場合、そのメンバーはアノニマスネームを使用すべきです。テレビ、映画、ビデオ等のメディアに対応する場合は、常に視覚的に匿名でいることが強く推奨されます。私たちは、報道、ラジオ、テレビ、映画、その他の公的なメディアにおいて、常に個人の匿名性を維持する必要があります。
9. 私たちは、**S.L.A.A.**が反対意見や敵対的意見にさらされたり、他の利益や主義を代表する広報担当者と対立したりする可能性があるパブリックフォーラムやワークショップ、その他のメディアイベントへの参加を避けます。
10. メディアや広報に関して相談すべき「グループの良心」の適切なレベルは、見込まれる世間からの注目の影響を受ける **S.L.A.A.**の地理的なエリアを代表するレベルです。メディアや広報の機会が **S.L.A.A.**フェローシップのより大きなレベルに影響する場合は、**S.L.A.A.**のより大きなレベルで活動する「グループの良心」となる機関に相談すべきです。**S.L.A.A.**の「グループの良心」はそれぞれのレベルで、その選択によって、「メディアや広報についての良心の委員会」を任命することができます。その委員会は、それを任命した「グループの良心」に直接責任を負い、**S.L.A.A.**におけるそれぞれのサービスのレベルで、メディアや広報のオファーに関して「グループの良心」の意思決定機関として奉仕します。
11. **S.L.A.A.**全体に影響を与える可能性があるメディアや広報の機会は、フェローシップ全体のレベルで活動する「グループの良心」の意思決定機関である、評議員会にかける必要があります。
12. 「グループの良心」のどのレベルにおいても、メディアや広報に関する意思決定の前に、1 分間の黙想を行うことが推奨されます。これは、**S.L.A.A.**の背後にいる「導き手である神の存在」を感じることができるよう通路をきれいにし、**S.L.A.A.**についての神の意図が「グループの良心」の決定に確実に反映されるようにするためです。